

第52回 大磯町下水道運営審議会議事録

日 時 平成26年5月19日（月）午前10時00分～午前11時20分

場 所 大磯町立 保健センター 2階研修室

出席者 委員）梶田委員（会長）、土方委員（副会長）、菊田委員、曾根田委員、
中越委員、川口委員、安藤委員、坪井委員、加藤委員 以上9名
事務局）中崎大磯町長、二椋木都市建設部長、平田下水道課長、
服部副課長兼係長、藤野主事補

・町長あいさつ

・町長より「大磯町公共下水道使用料の改正について」諮問

・梶田会長よりあいさつ

ただいま町長より諮問をいただきました。大磯町の財政は非常に厳しい状況とのことですが、住民に直結した問題であるので、慎重に審議して行きたいと思っております。

・各委員および事務局の紹介

・議事

事務局 本日の出席委員は9名で、大磯町下水道審議会規則第6条第2項の規定により、会議が成立しております。本日の審議会の議事として、一つ目として大磯町公共下水道使用料の改正について、二つ目としてその他でございます。

議長（会長） まずは大磯町の下水道事業の現況について、確認していただきたいので、事務局より説明をお願いします。

事務局 大磯町の下水道事業の現況について、予算・決算などについてご説明。

大磯町公共下水道の整備の概要について

638.7ヘクタールが全体計画面積となっており、事業認可につきましては、平成30年度が目標年次となっており市街化区域 548ヘクタールの整備を終わらせる。

公共下水道整備状況の推移について

平成24年度末で、整備区域の面積が374.3ヘクタール。整備率が、全体計画区域に対して、58.6%、事業認可区域に対しては68.3%となっている。したがって、平成25年度以降に整備すべき面積は、全体計画区域に対して264.4ヘクタール、事業計画区域に対して173.7ヘクタールとなっている。

下水道特別会計の歳入・歳出の状況について

歳出は、ほとんどが建設事業費や公債費に占められている。

歳入は、一般会計からの繰入金が約33%を占めており一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況にある。また、町債も約41%で町債残高は平成24年度末で約87億円で年々増えている。

会 長 委員の方から質問をしていただきたいと思います。

委 員 整備は順調に進んでいると考えてよろしいですか。

事務局 平成24年度が若干下がっておりまして、事業の進捗は、ほぼ事業計画通りなのですが、このへんが遅れ気味であることは確かであります。平成30年度までに行うには、今後ともかなりの整備をやっていかななくてはならないと考えております。

委 員 それは26年度にある程度（落ち込んだ部分を）回復させると言う考えか。

事務局 26年度以降の整備については、平均的にすべてを回復させるのか、期間を延ばすのか、財源等の関係もありますので他の部局とも相談をしながら、現在検討中であります。

委 員 26年度の予定は、どの位を見込んでいるのか。

事務局 平成25年度は、24ヘクタール位の整備であるので、25から30ヘクタール位の整備をして行かなければ行けないと考えている。

事務局 年度の事業計画をつくったので、概ねそのところの工事はやっていくという状況です。その中でも部分的にはとり残してしまうところが出てきているという状況です。26年度の事業予定というのは、大きく分けて、JR東海道本線の北側の県道のまわりと、こゆるぎ団地のほうへ行く幹線がありますのでその周辺が主なところ です。

委 員 事業費についてはどうなるか。

事務局 事業費については、国道を横断するとか、推進工事になるとかでだいぶ違いが出てくるので、事業費の検討を進めている中には、今まで行ってきたものやこれから行って行くものとかの事業費の算定の見直しを行っていますので、今後、委員の皆様には状況を報告できる時にはお示しして行きたい。

委 員 水道事業は、現在は更新を行っているわけではありますが、同じ工事をするにせよ、舗装厚の違いとか、交通量とか、夜間工事にするとか、経費がかかる。下水道にしても、同じ延長をやるにしろ金額が変わってくるなど、色々とお苦労されていると思う。

会 長 ほかにないようでしたら、先に進みたいと思います。それでは、資料2の「下水道使用料の使途と現況について」を事務局から説明をお願いします。

事務局 ・下水道使用料の使途の考え方について説明

下水道使用料は、汚水に係る維持管理費や借入金の元利償還などに当てられ「独立採算の原則」により運営を行っているが、不足分は一般会計からの繰入金で補っている。

・下水道事業の経営状況

平成 24 年度の下水道事業については、下水道使用料で賄うべき経費は 4 億 8,200 万円で、内訳は維持管理費 9,800 万円（20.4%）、元利償還金 3 億 8,400 万円（79.6%）となっている。

一方収入面では、使用料収入 1 億 6,400 万円（34.1%：経費回収率）、一般会計繰入金 3 億 1,800 万円（65.9%）となっており、一般会計からの繰入金を頼っているのが現状である。

大磯町は、他の町との比較でも経費回収率が低い。平成 24 年度に使用料の改正を行ったがその効果がどうだったのか等の資料も次回以降お示しさせていただきたい。

会 長 理解しづらいものですが、色々な資料が出てきましたが、これに関して質問はありますか。

委 員 お隣の町との違いを今後もお示ししていただけるとのことですので、よろしくお願います。寒川町などと地形の違いや葉山町では単独の下水道であるが経費回収率が良いなど、比較を今後示してもらいたい。

会 長 資料3の「今後の予定について」説明を

事務局 今後、年 4 回 5 月 19 日（本日）、7 月下旬、10 月上旬、11 月下旬を予定している。

会 長 全体を含めて質問などありますか。また、今後この様な資料を出して欲しいなどありますか。

委 員 資料ではないですが、議事録をいただき分かりやすかったので、次回以降も議事録をいただけたらと考えてよろしいか。

事務局 資料とあわせて配布させていただきたい。

会 長 もし何か分からないとか、資料がほしいとかありましたら、随時事務局に言ってもらえればと思います。

慎重にやって行きたいと思いますのでよろしくお願いします。それではよろしいでしょうか。最後、事務局。

事務局 それでは、これもちまして、第52回下水道運営審議会を終了させていただきます。

11時20分終了